

消化器・総合、乳腺・内分泌外科

1. 診療科の概要

当科は上部消化管、下部消化管、肝胆膵、乳腺・甲状腺の臓器別4チームを設け、入院患者約50～60名を受け持つ体制をとっている。臨床面では『最新かつ安全確実な医療』として根治性と安全性、機能温存・低侵襲性そして整容性にも最大限配慮した手術治療を提供している。ロボット手術や内視鏡手術には世界から多数の見学者が訪れている。切除不能進行がんに対しても conversion therapy や、血行再建含めた多臓器合併切除などの集学的治療に取り組み、治療成績を向上させている。乳腺・甲状腺分野ではパワーデバイスや神経刺激モニターなどの新たな工夫でより安全な手術を目指している。研究面では、市民公開講座を中心とした啓発活動はもとより、各種がんの基礎・臨床研究から、多施設での臨床試験・共同研究グループの設立および札幌医科大学データセンターの設置にも取り組むことで、教室員が一丸となってがん診断・治療に関わる新しい知見を『北から世界に発信』している。教育面では世界への発信と地域医療活性化の両立という大きな目標を達成するために『人材育成』を最重要と考え、ウェットラボ・アニマルラボから、生体に近い質感を残す特殊な cadaver を用いた手術セミナー、ビデオクリニック、da Vinci 含めた手術見学などの教育プログラムを多数展開するとともに、北海道の地理的不利を克服するライブビデオネットワークによる遠隔手術教育システムの確立にも着手している。

2. 臨床研修指導医

指導医：木村 康利、信岡 隆幸、今村 将史、沖田 憲司、九富 五郎、島 宏彰、伊東 竜哉、奥谷 浩一、小川 宰司、久木田 和晴、水口 徹

3. 研修担当者

氏名：奥谷 浩一 連絡先：okuya@sapmed.ac.jp

4. 研修初日の集合時刻と集合場所

集合時刻：8時00分 集合場所：臨床教育研究棟2階 臨床第一講義室

5. 到達目標

- ・ 外来または病棟において、下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応ができる。
＜ショック、体重減少・るい瘦、発疹、黄疸、発熱、心停止、呼吸困難、吐血・咯血、下血・血便、嘔気・嘔吐、腹痛、便秘・下痢、興奮・せん妄、終末期の症候＞
- ・ 外来または病棟において、下記の疾病・病態を有する患者の診療にあたることができる。
＜胃癌、消化性潰瘍、肝炎・肝硬変、胆石症、大腸癌＞

6. 研修内容

任意の臨床チームに配属され、2～4週間の単位でローテートしつつ研修する。研修医はチームのメンバーとして診療に参加し、外科診療における基本的手技・能力を身につけるとともに、プライマリケアの能力、さらには消化器外科・乳腺外科の高度な知識修得を図る。

(1) 回診とカンファレンス

- ・ 病棟カンファレンス：週の初めに行う。あらかじめ作成した担当症例の診断・治療に関するサマリーをプレゼンテーションし、他臨床チーム医などとディスカッションを行う。抽出された問題点については各臨床チームで検討し対策を立てる。
- ・ 術前術後カンファレンス：週の初めに、その週に手術が予定されている症例に関するカンファレンスを行う。担当症例をプレゼンテーションし、他臨床チーム医や放射線診断医などとディスカッションを行う。

また、前週に手術を行った症例の報告もあわせて行う。

- ・ 教授回診：病棟カンファレンス・術前術後カンファレンス終了後に行う。
- ・ 各グループカンファレンスをそれぞれ週1回行う。
- ・ キャンサーボード：月4回 消化器と肝胆膵各々の領域で、内科・外科・放射線科・病理診断科が合同で、すべての消化器がん患者に対するカンファレンスを行う。

(2) 研究会・勉強会

- ・ 週1回、英文医学雑誌の臨床抄読会を行う。
- ・ 研究セミナー：年に十数回、外科学に関する外部講師を招いたセミナーを開催している。
- ・ アニマルラボ、カダバーセミナーといった手術手技トレーニングセミナーを開催している。

7. 研修医の主な業務

- ・ 担当患者の状態を把握・評価し、診療プランを上級医と共に立案・実行する。
- ・ CVC挿入やIVR手技を上級医と共に実施する。
- ・ 診療経過をまとめ、カンファレンスで提示する。
- ・ チームの一員として手術に参加し、与えられた役割を担う。

8. 研修スケジュール

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
月		術前・術後 カンファ レンス	回診	手術（上部消化管、下部消化管） 病棟検査・処置 外来（下部消化管、乳腺・甲状腺）					回診	乳腺・ 甲状腺 カンファ レンス		
火			回診	手術（下部消化管、肝胆膵） 病棟検査・処置 外来（肝胆膵、乳腺・甲状腺）						回診		
水		抄 読 会	回診	手術（上部消化管、下部消化管） 病棟検査・処置 外来（下部消化管、乳腺・甲状腺）					回診	消化管 カンファ レンス		
木			回診	手術（下部消化管、共用） 病棟検査・処置 外来（上部消化管、肝胆膵、乳腺・甲状腺）						回診		
金			回診	手術（乳腺・甲状腺） 病棟検査・処置、チームカンファレンス（肝胆膵） 外来（下部消化管、肝胆膵）						回診		

9. 初期臨床研修時の症例を活用できる専門医資格

- ・ 外科専門医、消化器外科専門医

10. 研修協力施設

- ・ たすきがけ研修病院（協力型臨床研修病院）
JR札幌病院、北海道がんセンター、札幌禎心会病院、滝川市立病院、済生会小樽病院、小樽掖済会病院、市立室蘭総合病院、函館五稜郭病院、広域紋別病院、市立根室病院
- ・ 短期研修可能な施設（臨床研修協力施設）
勤医協中央病院、北海道立子ども総合医療・療育センター、あかびら市立病院